

平成21年度 決算

将来負担に改善みられる

9会計
約263億円
を認定

9月定例会

平成22年第3回行方市議会定例会は、9月6日から24日までの19日間の会期で開催しました。
本会議では、平成21年度決算の認定案9件のほか、補正予算案、契約案など8件が市長から、また、条例の制定案、附帯決議案の2件が議員から提出され、いずれも原案のとおり、全会一致で認定、可決しました。また、6月定例会で継続審査とした請願1件も全会一致で採択しました。
このほか、議員定数等調査特別委員会の調査結果の報告がありました。



学校等適正配置実施計画に基づく小中学校施設整備事業（麻生中学校）



公共施設へのAEDの整備（霞ヶ浦ふれあいランド）

優先的に
行われた
主な事業



米軍再編交付金等を活用した道路整備（沖洲区）



天王崎周辺開発事業による白帆荘解体工事

一般会計

景気の低迷で市税が減収

一般会計の歳入は、市税は全体において、景気の低迷や高齢化の進展など時代の流れが如実に反映され、前年度比3.2%、1億2,424万4,000円の減となりました。地方交付税は、当初減額が見込まれていましたが、国の緊急経済対策によって、前年度比5.9%、3億1,586万7,000円の増となりました。
歳出は、総務費において、定額給付金事業の国庫補助の減額等によって、前年度比14.8%、5億5,949万円の大幅な減となった一方、土木費において、道路の維持補修及び改良舗装事業の増額等によって、前年度比30.1%、3億3,337万3,000円の大幅な増となりました。
歳入歳出差引額は、6億5,714万1,000円で、翌年度へ繰り越すべき財源1億3,423万円を差し引いた実質収支は5億2,291万1,000円の黒字となりました。

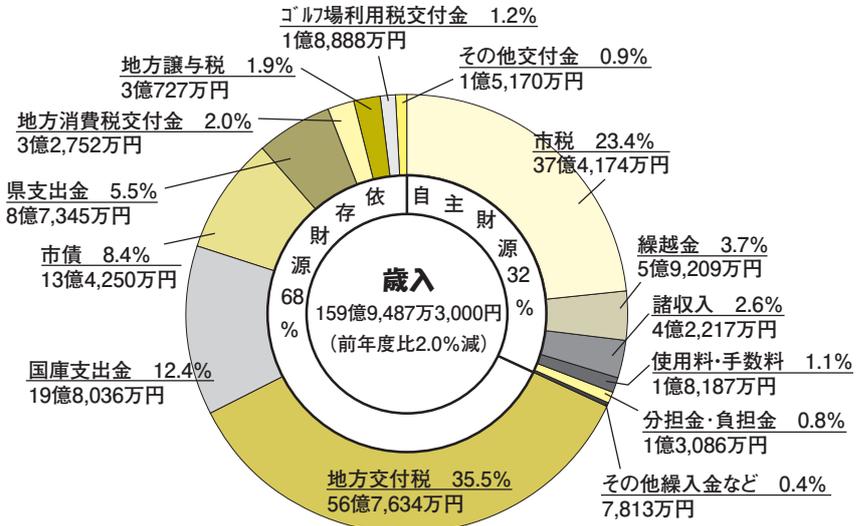
第3回定例会の経過	
〔9月〕	
6日	本会議 ・開会 ・会期の決定 ・諸般の報告 ・議案の上程、説明（報告・平成21年度決算） ・議案の上程、説明、質疑、討論、採決（条例・補正予算）
7日	休会（議案等調査）
8日	本会議 ・質疑（平成21年度決算） ・決算特別委員会の設置、付託、委員の選任
9日	決算特別委員会 ・正副委員長の互選 ・分科会の設置、委員の選任 総務委員会 ・副委員長の互選
10日	決算特別委員会（第1・第2分科会） 決算特別委員会（第1・第2分科会）

平成21年度一般会計の決算で見る

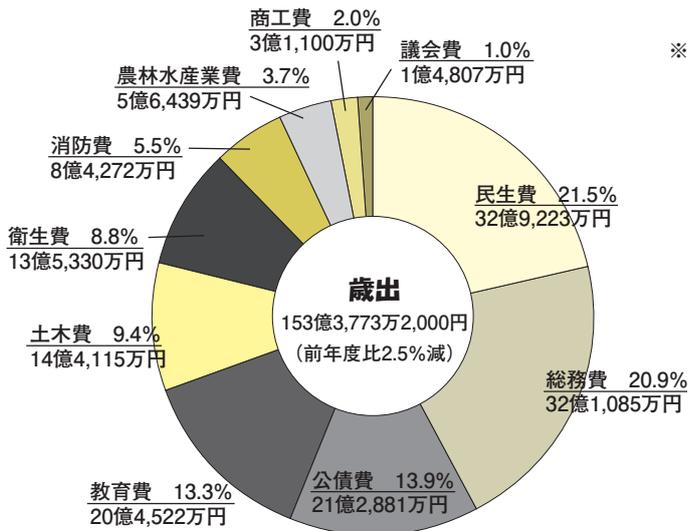
これが行方市の家計状況

歳入（入ってきたお金）は…

- 依然として、市税などの自主財源より地方交付税などの依存財源の占める割合が多い。
- 市税の収入率は91.2%で、前年度に比べ0.2%増加している。



※金額は100万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しません。



歳出（使ったお金）は…

- 予算に対する執行率は89.4%
- 性質別に見ると、主なもので人件費21.3%、公債費13.9%、物件費13.0%、扶助費10.6%、補助費等10.5%となる。

基金（貯金）と市債（借金）は…

- 基金は、一般会計は37億8,659万1,000円（前年度比40.0%増）、特別会計は4億3,699万1,000円（前年度比30.6%減）
- 市債は、237億6,774万4,000円（前年度比1.3%減）

11月12日	休会
13日	本会議
	・一般質問（4議員）
14日	休会（議事整理）
15日	議員定数等調査特別委員会
16日	休会（議事整理）
16日	休会（議事整理）
20日	教育厚生委員会
21日	請願審査
22日	休会（議事整理）
22日	休会（議事整理）
23日	休会（議事整理）
24日	決算特別委員会
	・分科会委員長報告、質疑、討論、採決
	・常任委員長報告、質疑、討論、採決
	・決算特別委員長報告、質疑、討論、採決
	・議員定数等調査特別委員長報告、採決
	・議案の上程、説明、質疑、討論、採決（契約、決議、条例（議員提案））
	・閉会中の所管事務調査
	・議員の派遣
	・閉会

たのか

平成 21 年度の決算は、議長及び議会選出監査委員を除く 21 人で構成する「決算特別委員会（委員長：成嶋常松、副委員長：椎名政利）」を設置・付託し、審査を行いました。決算特別委員会ではさらに2つの分科会（第1分科会・第2分科会）に分かれ、詳細にわたり審査を行いました。その審査の内容を一部要約してお伝えします。

福祉・健康



問 平成 21 年度の保育園の延長保育事業の利用者の実績はどのくらいか。

答 延長保育は、通常 18 時までのところを 19 時まで延長して保育を行う事業である。延べ人数で、麻生保育園 1,884 人、竜翔寺保育園 3,234 人、北浦保育園 74 人、玉造第一保育園 398 人、玉造第二保育園 761 人、玉造第三保育園 389 人の利用があった。

問 平成 21 年度は敬老記念品事業をどのような形で行ったのか。

答 敬老記念祝賀記念品等として、80 歳以上の方に、薬用石けんセットを社会福祉協議会と共催で贈呈した。対象人数は 3,768 人であった。

問 ひとり暮らしの高齢者へ緊急通報システムの全戸設置を望むが、平成 21 年度の機器の購入台数と設置状況を伺う。

答 通年 20 台の購入のところ、平成 21 年度は経済交付金の交付によって、93 台を購入し、84 台を設置した。平成 21 年度はひとり暮らしの高齢者 395 人のうち 211 人には設置済みとなった。今後もひとり暮らしの確認を行いながら設置を進めていきたい。

問 平成 21 年度の在宅介護慰労金の交付状況と慰労金 1 人 1 万円の算出根拠の理由を伺う。

答 介護者 122 名、122 万円を交付した。慰労金 1 万円は、財政状況を勘案した結果である。

総務・財政



問 職員研修事業の負担金が多いが、市で研修できるものは市で行えば、費用が抑えられるのではないかと。

答 職員が講師の能力を有していれば、それも可能であるが、現時点では難しい。法務研修など専門性を求めるものは専門機関で研修するのがよい。今後市で研修を行うことが可能になるような努力が必要と考える。

問 平成 21 年度で国民宿舎白帆荘の解体工事が完了したが、跡地の活用計画は怎么样了のか。

答 地域交流センターの建設に向けた計画を、企画課と商工観光課で協議している段階である。

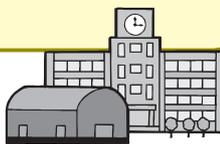
問 市たばこ税は年々減収となっている。この決算をもとに来年度予算ではどう考えるか。

答 近年の健康志向によって、ここ数年、約 1,000 万円ずつ減収になっている。予算もそれに応じて減収を見込まざるを得ないと思う。

問 軽自動車税の滞納、不納欠損が多い要因には何かあるのか。収納率を上げる対策を考えていないのか。

答 軽自動車のナンバー登録抹消漏れ等によって、車がなくても課税されていたためである。車検に係る納税証明書の発行の状況等で確認を進めていきたい。

教育



問 教育費全体的に不用額が多い。その理由を伺う。

答 平成 21 年度の不用額、約 6 億 5,000 万円のうち、学校建設費等で約 5 億 9,000 万円は平成 22 年度に繰り越されている。そのため、実際の不用額は約 6,000 万円である。この理由は、契約時に発生した入札差金が多いためである。今後は極力不用額がないように、予算を有効利用できるような編成に努めたい。

問 現在使用していない幼稚園舎の状況を伺う。また、電気、水道は使える状態のままなのか。

答 旧幼稚園舎は、学校の管理、放課後児童クラブや文化財の保管場所等になっている。電気、水道は使用状況を調査して、止めていい状況であれば、その方向で検討していきたい。

問 給食で「食べたい量を食べられない」、また子どもによっては「量が多い」という意見があったが、その解消に努力をしたのか。

答 給食センター統合当時であったそのような意見はほとんどなくなった。量は栄養士が計算したもので、以前と変わっていない。

徹底チェック!! 施策の効果はあっ



建設・上下水道

- 問** 耐震化診断の実施状況と診断後の対応について伺う。
- 答** 平成21年度は1棟3万2,000円で、申請のあった13棟を実施した。診断結果の報告書を持参しながら、対応について聞き取りを行っているが、改修はほとんど行われていない状況である。改修をやるやらないは本人の意思による。
- 問** 道路維持費や新設改良費などに不用額が発生しているが、道路整備の要望は多いと思う。不用額の理由を伺う。
- 答** 委託の減少や用地交渉の同意を得られなかったことが要因である。今後は事業の進捗状況を見きわめながら、不用額が発生しない方法に努めていきたい。
- 問** 高度処理型浄化槽の設置補助について伺う。
- 答** 平成21年度は、麻生地区10基、北浦地区7基、玉造地区14基の計31基について補助金を交付した。当初より申請者が増えたため、その要望を満たすために予算を補正して対応した。
- 問** 水道料金の未収金の額と滞納者への対応を伺う。
- 答** 平成21年度分は、過去5年間分も含め、5,746万5,722円である。平成21年度は約1,500件の滞納整理を行い、その中で通告に応じなかった300件に対して、給水停止を行った。使用料はきちんと支払うように進めていきたい。



環境・農林水産・商工

- 問** 平成21年度の不法投棄で、冷蔵庫が23台、洗濯機が30台、テレビが62台とかなり多いが、防止する方法はないのか。
- 答** 家電4品目のほか、自動車のタイヤの不法投棄が増えている。広報で不法投棄をしないよう呼びかけているが、環境監視委員による監視や防護柵の設置、悪質なケースは警察と連携を図り対応していく。
- 問** 環境美化センターは、年次点検が約5,000万円、修繕費が約4,000万円と毎年膨大な経費を要しているが、何年度に大規模改修を行うのか。
- 答** 現在、平成23年度以降の修繕計画書を作成している。当初は平成29年度としていたが、広域的な処理形式も考慮しながら時期を明示する。
- 問** 平成21年度の転作達成率について伺う。市職員をはじめとする転作を推進する立場の者が100%達成していなければ、事業は進まないと考える。
- 答** 麻生地区61.6%、北浦地区110.8%、玉造地区96.9%、市全体で84.2%である。市職員は、平成22年度は100%になったが、推進する立場として今後も率先して行っていく。
- 問** 新しく消費生活センターが設置されたが、相談件数やその内容について伺う。
- 答** 平成21年度の相談件数は190件ほどあった。内容は、金融関係やインターネットなど通信関係についての相談が特に多い。

		歳入	歳出	差引残額
一	一般会計	159億9,487万2,748円	153億3,773万1,575円	6億5,714万1,173円
	国民健康保険特別会計	51億9,855万8,638円	50億5,617万7,930円	1億4,238万708円
	老人保健特別会計	2,962万9,049円	344万8,656円	2,618万393円
	介護保険特別会計	27億761万6,715円	26億3,330万4,085円	7,431万2,630円
	後期高齢者医療特別会計	2億6,647万4,303円	2億6,510万1,803円	137万2,500円
	農業集落排水事業特別会計	6億9,570万3,382円	6億7,880万8,279円	1,689万5,103円
	特定環境保全公共下水道事業特別会計	3億4,158万7,955円	3億959万1,401円	3,199万6,554円
	流域関連公共下水道事業特別会計	3億9,128万6,049円	3億8,665万4,734円	463万1,315円
水道事業会計	収益的	8億1,694万1,357円	7億7,843万8,968円	3,850万2,389円
	資本的	6億100万7,542円	8億4,790万5,706円	△2億4,689万8,164円
合計		270億4,367万7,738円	262億9,716万3,137円	7億4,651万4,601円

平成21年度各会計の決算状況